

夏季県高校
野球大会

夏季県高校野球大会は最終日の28日、青森市のダイシンベースボールスタジアム（青森市宮球場）で決勝を行う。八戸学院光星―青森山田の決勝カードは3年ぶり。夏の甲子園大会は中止となったが、県の頂点をつかむため試合前日の27日、両校はそれぞれ練習に打ち込んだ。今大会52得点と強打の八学光星は夏の大会3連覇を狙う。持ち前の打力で青森山田投手陣を打ち崩せるか。3年ぶりの夏制覇を目指す青森山田は、5試合で3失策と堅守が光る。接戦に持ち込み試合の主導権を握りたい。決勝は午後1時から無観客で。（本紙取材班）

"特別な夏、きょう決勝

強打の光星 VS 堅守山田高

右攻略打に磨き 光星

八学光星ナインは八戸市の室内練習場で午前9時から約2時間、練習を行った。青森山田主戦の本格派右腕・小牟田の先発を想定して打撃練習に時間を割いた。1、2年の右投げ投手を並べ、15メートルほどの距離からの全力打球を打ち込む恒例の「近距離打撃」を繰り返した。主将中澤は「小牟田のほかにもいい右の上手投

げがそろっている。ワンチャンスをものにしたい」と意気込み、準決勝に続き先発が予想される主戦森木は「川原田、山村には注意しなければ」と好調の両右打者を警戒した。（松田啓志）

ひたむきに総力戦で▽八学光星・仲井宗基監督 苦しい試合を一戦一戦勝ち抜き、チームの力は上がってきている。うちのモットーは「粘り強く、ひたむきに、泥く